

唐宋八大家



佐賀県立唐津工業高等学校

〒847-0832 佐賀県唐津市石志字中ノ尾3072番

TEL 0955-78-1155 FAX 0955-70-302

<https://www.education.saga.jp/hp/karatsukougyoukoukou>



令和8年
1月8日発行
第350号

機械科 2年担任 保坂悠太

『修学旅行』

待ちに待った修学旅行が近づきました。地震や大雪、熊の出没などのニュースを見ていると、不安な面も出てきました。私の高校時代の修学旅行も北海道でした。友達と計画を立て美味しいものを食べ歩くツアーを計画し、海鮮丼やラーメンの名店を食べ歩いた思い出があります。おかげで、大人になっても、出張などがあればご当地の美味しいものを、調べて食べに行く習慣が身につきました。皆さんにとっても、新しい「気づき」の場になれば良いですね。そして、中には飛行機が初めての人もいるかもしれません。普段と違う状況に浮かれてしまう事もあるでしょう。でも、その飛行機には楽しい気持ちで乗っている人ばかりではありません。気遣いのできる人にならなければなりません。旅行を通して、いろいろな面で成長した姿を見せられると良いですね。

電気科 2年担任 小川孝幸

『校訓に学ぶ』

「技術の真髄をつかめ」。これは、私の母校の校訓です

私は、高校生の頃からロボット製作に打ち込んできました。ロボット製作には、答えない問題を解くような難しさがあります。そして、製作の過程ではいくつもの課題が出てきます。そこでは自分の頭でしっかりとと考え、試行錯誤し、解決していかなければなりません。誰かに答えを求めるのではなく、自分で答えをつくっていくという経験の中でこそ、ものづくりに対する深い理解が得られます。高校生の私は、正直なところ、校訓の意味を深く考えたことはありませんでした。しかし、目にするうちに、知らぬ間に校訓に学び、学校生活を送っていたのではないかと思います。「起て 察よ 運け」。みなさんは校訓から何を学びますか。

十木科 2年担任 本村晃一

『学び続けることの大切さ』

教育に携わる中で強く感じているのは、「学び続ける姿勢こそが人を支える」ということです。私も現在、授業のために教材研究をしたり、部活動の野球指導のために指導書をあさったり、様々な理論に触れてみたりすることによりよい練習の在り方を探っています。他分野においては、昨年は投資の知識を身につけ、社会の動きを理解しようと努めました。

学校においても、先輩教員から学ぶことはもちろん、生徒の皆さんとの言葉や姿勢から思われることが多いです。家庭においてさえ、妻や幼い息子たちとの関わりの中で、価値観や視点を広げてもらう日々です。学びは特別な場所に限られるものではなく、日常のあらゆる場面に存在しています。皆さんと共に、これからも成長し続けられる一年にしたいと考えています。

建築科2年担任 陣内輝雄

『次の進路に向けて』

先月、進路に精通した先生や労働局の方から、高卒でも大卒でも、3年以内に仕事を辞める人が多いと聞き、不安になりました。高校生の中にもそのような気持ちになる人もいると思います。社会人になって働いてわかるのは、辞めてしまう理由は、社会の大変さやギャップに戸惑うからであると言われています。社会に出た瞬間に求められる「当たり前」が急に変わった様に感じ、また、一気に求められます。でもそれは特別な才能とかではなく、今の高校生活の中でも少しづつ身に付けられる力です。朝決まった時間に起きる、周囲の人に挨拶をする、課題を期限までに出す、人との約束を大切にする、体調を管理する、決められた時間に決められたことをするなど、社会への準備は始まっています。入社前も入社後に悩む経験も普通ですし、無駄にはなりませんが、何気ない日常の姿勢が、将来の自分を支えます。



行事は変更することがあります。ご了承下さい。

日	曜	時	学校行事	日	曜	学校行事	
1	木		元旦	1	日		
2	金			2	月	特別選抜準備	
3	土			3	火	特別選抜学力検査 生徒家庭学習	
4	日			4	水		
5	月			5	木		
6	火		マイスター派遣(建築)	6	金	HR(クラスマッチ選手決め) 工業基礎学力テスト	
7	水			7	土		
8	木	特	始業式 頭髪服装検査・中掃除 HR(実態調査ほか)	マイスター派遣(建築)	8	日	
9	金	C	HR(1年:クラス, 2年:結団式, 3年:キャリバース)	9	月	1,2年学年末考査 特別選抜合格発表(13:00)	
10	土			10	火	3年生最終登校日 卒業激励会	
11	日			11	水	建国記念の日	
12	月		成人の日	12	木		
13	火	平	修学旅行(2年)	13	金		
14	水	平		14	土		
15	木	平	棚田プロジェクト贈呈式(AM)	15	日	危険物取扱者試験	
16	金	平	HR(1年:クラス扱い, 2年:赴任心得) グラフィック検定	SC (PM)	16	月	佐賀週間(朝読書)
17	土			17	火		
18	日			18	水		
19	月	平	HR(2年:修学旅行アンケート) ②③出前授業(1, 視聴覚室)	19	木	SC (PM)	
20	火	平		20	金	HR(進路状況説明会)	
21	水	平	生徒保健委員会	HT ⑬	21	土	
22	木	B		22	日		
23	金	平	3年学年末考査	HR(進路体験発表会) 情報技術検定(デ1)	23	月	天皇誕生日
24	土			24	火		
25	日			25	水		
26	月	平	工場見学(2:終日)		26	木	卒業式予行, 同窓会入会式 HR(1:クラス, 2:求人票)
27	火	平			27	金	卒業式 1, 2年家庭学習
28	水	平			28	土	
29	木	平	課研発表会(機械、建築)	SC (PM)			
30	金	平	HR(1・2年:キャリアアンケート, 要録調査) 課研発表会(電気、土木)	JM 顕彰後期申請締切			
31	土						

HT:ヒューマントレーニング SC:スクールカウンセラー来校 キ:機械科 デ:電気科 ド:土木科 ケ:建築科 ④:建築科マイスター派遣事業

○令和7年度 佐賀県高等学校駅伝競争大会 3位入賞

10月26日(日)に川副町において開催された佐賀県高等学校駅伝競走大会に本校駅伝部が出席しました。川副町の佐賀市立スポーツパーク川副を11:20にスタートし、序盤2位で好調なスタートを切りましたが、2区～3区で佐賀工業、白石高校との競り合いながら、4区中継では2位で襷(たすき)をつなぎました。4区以降は順位を一つ落とすも、3位をキープしながら順調に走り、昨年の記録を51秒短縮し、2時間21分2秒でゴールしました。また、今年の大会では3年生選手の活躍があり、1、2年生がそれに応えるような素晴らしい走りを見せてくれました。3位入賞により、3年ぶりに九州大会への出場権を得ることができました。

区間	選手名	学年	累計タイム	区間タイム	区間順位
1区	中山康聖	機3	33'09"	33'09"	2位
2区	中山将宗	機1	42'56"	9'47"	6位
3区	井本楓雅	機3	1'09'38"	26'42"	3位
4区	福尾澄海	電2	1'36'55"	27'17"	4位
5区	植松海琉	建1	1'47'10"	10'15"	5位
6区	小山威極	電1	2'04'10"	17'00"	4位
7区	北原煌心	機2	2'21'02"	16'52"	5位



○防災避難訓練を実施

10月28日(火)に、土木製図室からの出火を想定した避難訓練を実施しました。

避難集合場所を体育館下ピロティーとし、避難を終えたクラスの委員が迅速に人数確認と避難完了の報告を本部に行いました。実際の火災発生時における避難では、慌てず騒がず落ち着いて、放送や先生の指示に従って避難をすること。また、避難中に煙が発生した際は口と鼻をハンカチなどで覆い、低い姿勢で避難することが大切です。避難集合完了後、唐津市消防本部中部分署の消防士の方から、「災害はいつ発生するかわからないので、日頃から避難場所、避難方法などの情報収集を心がけ、防災意識を持つ事や、風水害時では情報収集が生死を分ける事になる」というお話をいただきました。最後にグラウンドで、消火器を使っての消火訓練を2年生の代表4名に行ってもらいました。



○中高生ビブリオバトル県大会 優勝

11月9日(日)に佐賀市アバンセに於いて開催された「中高生ビブリオバトル県大会」に堤田壮士郎さん(電3)が出場し、見事優勝を飾りました。中高生ビブリオバトルとは、中学生や高校生がおすすめの本を持ち寄り、その魅力を5分間で紹介し合う「知的書評合戦」です。参加者全員の投票で「一番読みたくなった本」(チャンプ本)を決定するコミュニケーションゲームで、読書への関心を高め、情報発信能力を育むことを目的とした大会です。

発表では、「むらさきのスカートの女」(今村夏子著)を推薦し、「他人を色眼鏡で見て貼ったレッテル—その色は正しいのか。普通と変との境界線の曖昧さや普通とは何かについて考える作品。読むことで壊れる自分の感覚と思いもよらぬ逆転劇を体感して。」とその魅力をアピールしました。堤田さんは、令和8年2月8日(日)に行われる第12回「全国高校ビブリオバトル大会」に佐賀県代表として出場します。



令和8年1月号

○北波多ふれあいフェスタ2025

秋の地域恒例行事の一つ、「北波多ふれあいフェスタ 2025」が11月9日(日)に北波多社会体育館とその周辺で開催され、周辺地域の方々や県外から多くの来場者で賑わいました。イベントでは大縄跳び大会やカラオケ大会、ステージショーなどが催されました。また、ベースイベントでは創作品展示、露天商、農産物即売会、地元商店などが出店され、本校も地域貢献の取り組みとして「ものづくり教室」を開催しました。機械、電気、土木、建築の各科から特色あるイベントを実施し、子供達や地域の方々と楽しくふれあいながら「ものづくり」の楽しさを伝えました。



【機械科】

【電気科】

【土木化】

【建築科】

○第33回「県下工業高校生建築設計競技大会」にて最高位を受賞

本校建築科では建築科3年生全員が、卒業設計という位置づけで、建築設計製図の授業の中で4月から9月までの約半年間、各々が設計に取り組み、県下工業高校生建築設計競技大会へ作品を応募しました。今年度は「気候風土に配慮した地域の公民館」というテーマで、佐賀県内の建築科のある学校より、計115点の応募があり、県内の1級建築士の方々の厳正なる審査の結果、本校、宗田強希さん(建3)が県知事賞を、川添奈々さん(建3)が県教育長賞という最高位の賞を受賞し11月16日(土)に佐賀城本丸歴史館外御書院一之間で授賞式が行われました。



○若年者ものづくり大会に出場した卒業生による講演会

令和5年に本校機械科を卒業し、その後九州職業能力開発大学校へ進学された正木克征様が、令和7年度若年者ものづくり競技大会・全国大会のフライス盤部門に出場し、見事「銀賞」を受賞されました。11月17日(月)に正木様を本校にお迎えし、「令和7年度若年者ものづくり競技大会全国大会に出場して」と題して、全国大会に至るまでの努力の過程や、競技に向けて工夫した点、そして日々学習に励む後輩たちへの貴重なアドバイスとして、1. 苦手意識を持たない 2. 繙続性(積み上げ) 3. 質を求める(練習) 4. 自信を持つ(周囲を気にしない) 5. 集中力・向上心 6. 課題を明確にする の6つのアドバイスを頂きました。生徒たちは、プロフェッショナルな世界で活躍する先輩の言葉に熱心に耳を傾け、大いに刺激を受けていました。



令和8年1月号